

「主の祈り」

ヘブルの視点からのミドラッシュの試み

MDRSH 序

エレミヤ書 29 章 13~14 節

13 もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求める(ダーラシュ)なら、わたしを見つけるだろう。

14 わたしはあなたがたに見つけられる。

- 「ミドラッシュ」(מִדְרָשׁ)とは、神を「尋ね求める」ことを意味するヘブル語動詞「ダーラシュ」(דָּרַשׁ)の名詞で、「解釈、注釈」を意味します。それは、神が意図している秘密を探り出す営みです。
- 「主の祈り」-ある時、この祈りは、私たちの想像をはるかに越えた神の秘密が隠された祈りではないかと、私は直感的に感じ始めました。「主の祈り」をヘブルの視点からミドラッシュする試みは、その中にあることばをヘブル語に置き換え、そのヘブル語の持つ意味、あるいは、ヘブル語の文字の中に秘められているメッセージをミドラッシュすることです。そこから神の「ソード」(סוּד)の世界、つまり、「神の隠された秘密」を探り求めてみたいと思うようになりました。そこは「顔と顔を合わせる」愛の世界であり、不完全なものはすたれて、完全なものが姿を現わす世界です。私たちが祭司であるならば、御国の完全な到来が近づけば近づくほど、その世界を垣間見ることが許されていると信じます。そのためには、私たちは乳ばかり飲んでいる幼子であってはなりません。堅い食物を食べることのできる大人にならなければなりません。神のことばの初歩的な教えにとどまることなく、義の教えに通じるようにならなければなりません。ここでの「主の祈り」のミドラッシュは、そうした試みをしようとしています。
- ヘブルのミドラッシュのアプローチとして二つのことを提示しておきたいと思います。
 - 【1】「主の祈り」の前半にある語彙と、それに付随する語彙のヘブルの概念を理解する
このことは、イエシュアがユダヤ人であり、しかもヘブル語でイエシュア自身が祈っていた祈りだからです。
 - 【2】神のご計画全体という鳥瞰的視点から「主の祈り」を理解して、祈るということ
イエシュアの地上でのすべての営みは、御父のご計画を成就させるためです。それは神のご計画全体の視野をもって語られ、そして、神のみわざをなされたと考えられるからです。
- 「主の祈り」の中にある語彙をギリシア語ではなく、すべてヘブル語に変えて、ミドラッシュすること。そして、それぞれの語彙のヘブルの概念を理解することを試みたいと思います。

- (1) 「天」(シャーマイム שָׁמַיִם) ⇔ 「地」(エレツ אֶרֶץ) ⇔ 「家」(ベート בַּיִת)
- (2) 「父」(アーヴ אָב) ⇔ 「子・息子」(ベーン בֵּן、バル בַּר) (3) 「御名」(シエメハー שֵׁמֶךָ)
- (4) 「あがめる」(カーダシュ קָדַשׁ) (5) 「御国」(マルフォーテハー מַלְכוּתְךָ) (6) 「糧」(レヘム לֶחֶם)
- (7) 「負い目」(ホーヴ חוּב) (8) 「赦す」(マーハル מַחֵל) (9) 「試み」(ナーサー נָסָה)
- (10) 「悪」(ハ・ラア הָרַע) (11) 「救い出す」(ハーラツ חָלַץ)